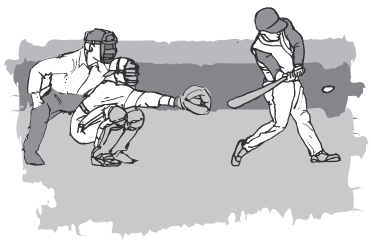
部活動の廃止や休止、再開の基準は？

問 少子化の影響により、中学校における部活動の存続が問題となっているが、部活動の廃止や休止、再開の基準は定めているのか。

答 部活動の廃止や休止、再開の基準については、入部生や生徒数、教職員の推移、保護者の意見などを基に慎重に審議を行い、最終的には学校長の判断により結論を出している。

教育委員会としては、この事案を重要な課題として捉えており、今後、国の動向や県内他市町の取組などを参考としながら、より良い方策を考えていきたい。



公明党 西条市議団

代表質問

どう取り組む？ 市の重点施策

問 施政方針に示されている市民融和施策、産業施策、情報発信について、具体的にどのように取り組んでいくのか。

答 市民融和施策は、合併10周年記念事業への市民の積極的な参画を促し、各地域の特性と魅力を再認識し、互いを理解することで、融和一体感の醸成につながるものと考えている。

産業施策は、これまでの取組に加え、本市の地域資源を生かした商品開発などを助成する制度などを策定し、雇用創出や地域産業の活性化につなげるとともに、今後も効果的な施策を打ち出しながら、市の財政基盤の根幹となる産業施策を推進していきたい。

情報発信については、本市の魅力を市内外に積極的にアピールし、認知度向上やイメージアップを図り、交流人口の拡大や地域活性化につなげることで、市民が郷土に愛着や誇りを持って住み続けたいと思う「最上のまち西条」が実現できるものと考えている。

一般質問

胃がん対策として ピロリ菌の感染検査を！

問 本市で実施している胃がん検査に、ピロリ菌の感染検査を追加する考えはないのか。

答 国は、ピロリ菌の検査が胃がんの死亡率を低下させる効果の実証がじゅうぶんでないことから、調査・研究を進めており、行政が行う検診としては勧められないとの見解を示している。

本市では、国の検証結果を注視するとともに、先進団体を調査・研究し、胃がん対策の在り方を検討していきたい。

会派に属さない議員

一般質問

建国記念の日奉祝大会 チラシ配布に 問題はないか？

問 平成26年２月11日に開催された建国記念の日奉祝大会を後援し、皇国史観に基づく大会のチラシを教育委員会が小・中学校の児童・生徒に持ち帰らせるよう要請したことは、適切な行為ではないと考えるがどうか。

また、太平洋戦争終結後、当時の教師、教育界が軍国主義教育を悔い、「子どもを戦場に送らない」と決意した原点をどう受け止めているのか。

答 子どもたちに国を愛する心、国の成り立ちを考える機会を提供することに問題はないと考える。チラシの配布は、事業の開催情報を提供するために行ったもので、大会参加も強制ではない。また、全ての教育活動の中で、平和や人権の大切さについて学習しており、今後も教育基本法の目的を尊重しながら、教育活動に邁進する考えである。

西条南中学校寄宿舎 跡地の利用方法は？

問 平成21年６月定例会において、「西条南中学校寄宿舎跡地の利用方法について、鋭意取り組む」という答弁があったが、その後、どのような検討がなされ、利用方法はどうなったのか。

答 西条南中学校寄宿舎跡地は、伊藤五百亀氏や黒田武恒氏の寄贈作品などの保管場所としていたが、学校から運動場用地として使用したいとの要望があり、作品などの移設を検討してきた。

その後、平成25年８月に開館した五百亀記念館へ、伊藤氏の作品は移設したが、黒田氏から寄贈を受けた鑑賞石は現在も保管している。今後、鑑賞石の移設や跡地の利用について、学校関係者と協議していきたい。